



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

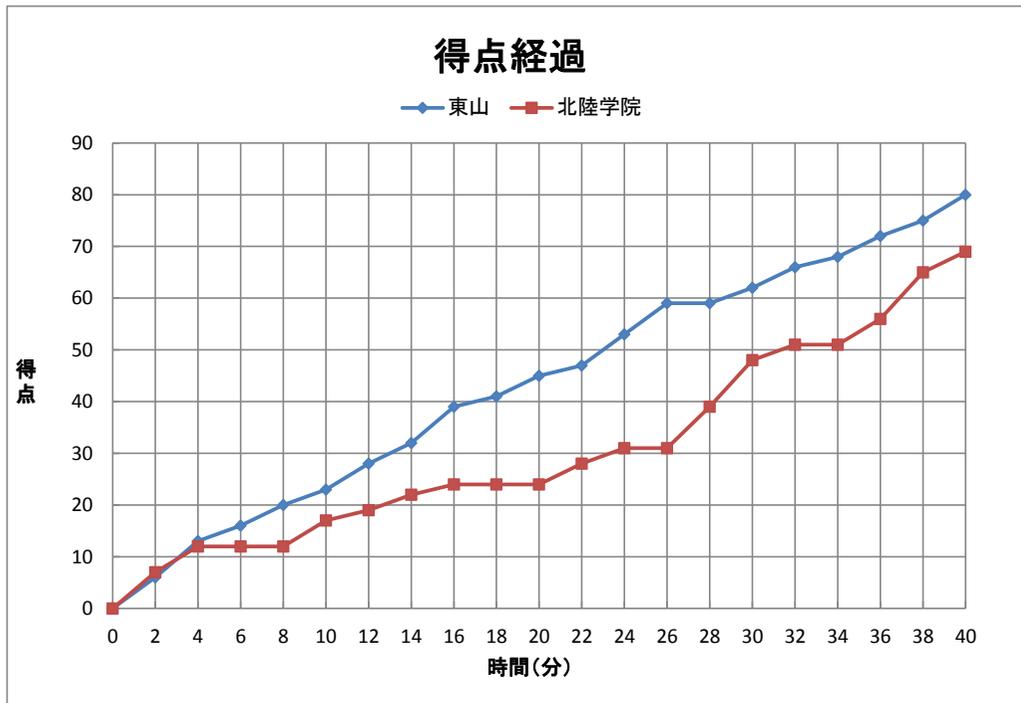
試合日	2016年8月3日
開始時間	13:20
会場	広島サンプラザ
コート	C
試合順	3

Team A	23 - 17	Team B
	22 - 7	
東山	80	69
	17 - 24	北陸学院
	18 - 21	
(京都府)	-	(石川県)

Team A 東山																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	岡田 侑大	17	1	1	7	18	0	6	2	0	1	1	2	4	1	1	30:41
5	*	山内 佑真	8	2	8	1	2	0	0	1	1	4	5	4	5	2	0	40:00
6	*	松本 峻典	13	0	0	6	10	1	3	1	6	2	8	0	1	0	0	40:00
7		甲谷 勇平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	*	藤澤 尚之	12	1	4	4	10	1	2	3	0	6	6	6	8	5	1	40:00
9	*	カロンジ カボンゴ バトリック	30	0	0	14	28	2	5	2	15	13	28	2	5	1	1	37:20
10		鱒 拓真	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		太田 和輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12		吉田 優維	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	8:54
13		南 天仁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		吉田 竜丸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:25
15		グラランダマベラ モンゾンボ クリスティン	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	3	0	0	0	1	2:40
Team / Coach:		大澤 徹也	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	2	3	3	/	/	/
合計			80	4	13	32	72	4	16	9	24	31	55	18	23	9	4	200
RATE				30.8%		44.4%		25.0%										

Team B 北陸学院																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	小室 悠太郎	16	2	6	4	7	2	2	4	2	5	7	0	1	0	0	36:42
5	*	宮下 謙輔	3	1	2	0	1	0	0	3	1	0	1	2	0	0	0	16:19
6	*	中川 海斗	2	0	0	1	1	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	17:46
7	*	高田 洗希	2	0	6	1	6	0	0	3	1	3	4	4	1	2	2	25:56
8		山口 結輝	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11:05
9		森井 隆介	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10		柿木 混志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		北方 祐也	3	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17:32
12	*	大倉 颯太	36	8	16	6	17	0	0	4	0	3	3	4	2	1	1	40:00
13		清水 宏記	5	1	1	1	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	23:41
14		橋本 一輝	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7:41
15		森島 瑞樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3:18
Team / Coach:		濱屋 史篤	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	4	6	1	/	/	/
合計			69	13	39	14	37	2	2	18	7	17	24	12	4	4	3	200
RATE				33.3%		37.8%		100.0%										

主審	渡邊 整	副審	松尾 諭	
----	------	----	------	--



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4	
TeamA	:	:	39:00	:	:	:	:
TeamB	7:09	11:55	24:47	35:25	38:20	:	:

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

第1P、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。東山は#8の3Pで口火を切り、#9を起点に攻撃を展開。北陸学院は#12の1対1から#4へのあわせで加点する。互角な戦いが続いていく中、徐々に東山がセカンドチャンスから得点し、リードしていく。残り3分、20対12東山のリードとなったところで北陸学院はタイムアウト。その後北陸学院は#13が3Pを沈めるも、リバウンドを制した東山が23対17とリードして第1P終了。

第2P、東山はインサイドにボールを集め、そこから飛び込んできた選手へあわせることで加点。積極的なスティールも決め、28対19とリードを広げたところで北陸学院は前半最後のタイムアウト。ここから北陸学院は#8のミドルシュート、#4の3Pなどで応戦する。しかし東山は#4が3Pやドライブなど、巧みなオフェンスを見せつける。さらにリバウンドも第1Pと同様に制し、45対24、東山はリードを広げて第2P終了。第3P、北陸学院はオールコートマンツーマンのプレッシャーを強めて勝負をかける。オフェンスでは#12がチームを牽引。何とか東山の高さに対抗して粘りを見せるが、東山は#9のインサイドに加えて速攻も増えていく。#6のバスケットカウントで流れは完全に東山かと思われた。しかし終盤、北陸学院は#12の4本の3P、#11の3Pで一気に加点。20点以上あった差を14点までに詰め、62対48で第3P終了。第4P、序盤両チームとも3Pを多投。なかなか決まらない中、最初に沈めたのは北陸学院#12。第3Pの勢いをこのピリオドにつなげるが、東山は再びここで#9を起点にしたインサイドに攻撃を転換し加点。さらに#9の強烈なダンクシュートが炸裂。56対75、東山のリードとなったところで北陸学院タイムアウト。ここから北陸学院は#4の3P、#12の2本の3Pで猛追、一気に10点差に迫る。ここで東山はベンチに下がっていた#4を戻し、即座に加点する。終盤北陸学院はファウルゲームに持ち込むも、前半の点差をひっくり返せずタイムアップ。80対69で東山がメインコートの出場権を得た。

東山の#4と北陸学院#12のエース対決が印象に残った試合であった。

戦評	菊池 貴明
----	-------

記録	高陽 高校
----	-------